東京都版

自由民主党
東京都支部連合会
〒100-8910
東京都千代田区永田町1－11－23
電話 03(3581)6211(代)
FAX 03(3581)2120
TOKYO自民党ホームページ
http://tokyo-jimin.jp/

知事選、都議補選必勝誓う

川松真一朗都議会自民党政調会長の「ガンバローコール」で締めくくった都連定期大会に代わる臨時総務会

「小池都知事全面支援」を決定

都連定期大会に代わる総務会

東京都連は6月10日、都連大会に代わる臨時総務会を開き、萩生田光一・現会長の再任を決めた。就任のあいさつで萩生田会長は「役職停止期間の最中で、率直に言って逡巡した部分はあるが、会長に指名されたことを重く受け止め、党の立て直しに身を捧げる覚悟だ」と述べた。その上で、「もう一度、都民の皆さんに信頼していただける自民党を作るために、身を粉にして働かせていただくことをお約束したい」と決意を語った。

萩生田会長の再任を決定

この日の会議では萩生田会長の再任のほか、幹事長には三宅茂樹都議会議員、総務会長に井上信治衆院議員、政調会長に平将明衆院議員の就任が決定した。また、会計監査には高橋信博、和泉武彦両氏を選任した。

深谷隆司
役員選考委員長

役員選任ついては、今年2月の定期都連大会で「政治状況が落ち着いたころをめどに改めて役員選考委員会で協議する」こととしていた。これを受け5月15日、深谷隆司都連最高顧問を委員長とする役員選考委員会が開かれ、役員案が取りまとめられた。

会議では議長を務める井上総務会長からこうした経緯の説明があり、次いで、深谷選考委員長が登壇し、同委員会の審議結果を報告、原案の通り承認された。

新しい都連役員

会長	萩生田光一
幹事長	三宅茂樹
総務会長	井上信治
政調会長	平将明

革新都政は絶対阻止する

続いて、6月20日に告示され、7月7日に投開票が行われる知事選への対応が議論された。

まず、菅野弘一都議会自民党幹事長は、都議会での答弁や、都議会自民党と小池百合子都知事との意見交換を通じて、小池都知事から「都議会自民党は重要なパートナー」との認識が示されたことなどを踏まえ、「都議会自民党として小池知事を支持したい」との考えを示した。

さらに、萩生田会長が登壇し、「8年前は小池知事とは戦ったが、この4年間は多くの場面で同じ方向を向いて仕事をしてきた。少なくとも心を一つに、我々がしなければならないことは東京を『革新都政』にしてはならないことだ」と述べ、「大局的見地から結束して戦おう」と呼び掛けた。

これを受け、井上総務会長は①共産党主導の革新都政を絶対に阻止しなければならない②自民党都連は小池都知事への全面支援を行う③支援の方法については都連4役に一任する——の3点に整理して出席者の意見を求めたところ、全会一致で了承された。

6月28日告示、知事選と同じく7月7日投開票の日程で行われる8つの都議補選については、三宅幹事長から「山積する都政の課題解決において、引き続き都議会第一党としての責務を果たすためには、この都議補選でわが党の議席を獲得することは極めて重要」との方針が示された。

その上で、都議会自民党に選対本部を設置し、全議員を8選挙区に振り分けて支援態勢を整えることが報告された。

締めくくりに川松真一朗都議会自民党政調会長の発声で、「ガンバローコール」を行い、同補選の必勝を誓い合った。

都知事選に対する都連の方針

- 共産党主導の革新都政を絶対に阻止しなければならない
- 自民党都連は小池都知事への全面支援を行う
- 支援の方法については都連4役に一任

8都議補選 自民党公認候補

【北区】

戸枝大幸
(47) 新

【板橋区】

河野ゆうき
(54) 元1期

【中野区】

いでい良輔
(51) 新

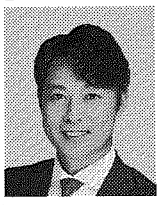
【品川区】

せりざわ裕次郎
(34) 新

【府中市】

増山あすか
(46) 新

【八王子市】



馬場たかひろ
(45) 新

【江東区】

やまざき一輝
(51) 元4期

【足立区】

榎本ふみこ
(47) 新

TOKYO自民党 政経塾19期開講 106人が入塾

TOKYO自民党政経塾（塾長・深谷隆司都連最高顧問）第19期開講式が5月28日、党本部で行われ、塾生106人が参加した。

式典で主宰の萩生田光一都連会長が「19期入塾生の皆さん、ご入塾誠におめでとうございます。深谷塾長、小田塾長代行のもとで、それぞれ目標を立ててご努力いただき、実りある一年にしていただきたい」と塾生にエールを送った。

塾生を激励する深谷隆司塾長

続いて深谷塾長があいさつに立ち「今日、皆さんを迎えることは誠に大きな喜びだ。ここで学んだ人たちが、わが国の政治を支える土台を担っている。この一年、皆さんとしっかり勉強していきたい」と期待をにじませた。

この後、小田全宏塾長代行、出身議員の大西英男、辻清人、土田慎各衆院議員、川松真一朗都会議員がつぎつぎに激励のあいさつに立った。

最後に塾生代表の生駒宏武さんが「塾長や講師の先生方のもとで、日本を引っ張るリーダーになれるよう一生懸命学んでまいります」と決意表明を行った。

入塾した塾生は東京都を中心に首都圏在住者が大半を占めるが、19期においても兵庫県、島根県、福岡県などの遠方からも幅広い入塾者が参加している。

第19期の政経塾は、来年3月まで計14回28講座が予定され、さらに11月には一泊二日の合宿も行われる。

新会長に鈴木理志目黒区議

区議連協新体制発足

東京23区の自民党所属区議会議員で構成する、党区議会議員連絡協議会（＝区議連協）は、6月6日に幹事長会を開催。新役員を選出、新体制が発足した。

会長には、鈴木理志目黒区議（写真）が就任。同時に副会長ら計7人の役員が選出された。

選任に当たっては、慣例により5つあるブロックで開催する会議において各役員を選任し、幹事長会で了承された。

わが党を支える根幹となる地方議員の組織として、新体制においても各区の連携をはかり、強固なわが党の基盤組織としての役割を担っていく。